

# 小学校教科書の所用漢字と漢字教育

## —漢字教育のための教材研究序説—

西 崎 亨

### 0

中教審教育課程企画特別部会「論点整理」(2015年8月26日)において、「国語科」の学習指導要領改定にあたっての見直しの一つの視点として、「平成22年に常用漢字表が改定されたことを踏まえ、小学校において、実生活や国語科以外の各教科等との関連を考慮しながら、漢字の学年別配当の見直しの検討が求められる。」とある。2016年5月18日の朝日新聞には、

文部科学省は17日、埼玉の「埼」や大阪の「阪」、熊本の「熊」など都道府県名に使われている漢字20字を新たに小学校の必修漢字にする案を文科相の諮問機関・中央教育審議会に示した。2010年に都道府県名がすべて常用漢字になったため。20年度にも導入され、小学校国語で学ぶ漢字は計1026字となる。(中略)

案では、20年度に始まる小学校の新学習指導要領で、各学年で学ぶ漢字を示した「学年別配当表」に20字を追加する。何年生でどの漢字を学ぶかは今後検討する。中教審は今年度内に案に沿った答申を出す方針だ。

として、追加の予定される次の20字が示されている。

茨・媛・岡・潟・岐・熊・香・佐・埼・崎・滋・鹿・縄・井・沖・栃・奈・梨・阪・阜

ところで、2010年11月30日、「法令、公用文書、新聞、雑誌、放送な

ど、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安」として、漢字教育の基準にもなっている「常用漢字表」の、29年ぶりの改定となる新「常用漢字表」が30日、内閣告示された。

今回の改訂「常用漢字表」内閣告示は、196字を追加した。因みに、追加された196字のなかで、茨・媛・岡・熊・埼・鹿・栃・奈・梨・阪・阜の11字は、新指導要領で「学年別配当表」に追加が予定されているものである。

教育漢字の字数の増加については、「児童の学習負担」を考慮した慎重な意見の出されているのも事実であるが、本稿では各教科における教科書所載の所用漢字の実態について報告する。それは国語科における漢字教育のあり方についての再考の必要性の謂である。

# 1

近年言語研究の分野において、コーパスを用いた研究への期待が増えつつある。日本語のコーパスも『日本語話し言葉コーパス』（2004年公開）、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（2011年公開）等は、その代表であろう。

ところで、国語教育にコーパスを活用しての授業研究は多くはない。しかし、「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築：21世紀の日本語研究の基盤整備」言語政策班によって「従来コーパスがほとんど使われていなかった分野である国語政策と国語教育の分野にコーパスを導入する」（『特定領域研究「日本語コーパス」言語政策班報告書 言語政策に役立つ、コーパスを用いた語彙表・漢字表等の作成と活用』）ことを目指した、144冊の教科書（小学校教科書59冊、中学校教科書28冊、高等学校教科書57冊）を対象とした、全文コーパスとしての『教科書コーパス』が作成された。

『教科書コーパス』作成を目指した特定領域研究「日本語コーパス」言語政策班の報告書『言語政策に役立つ、コーパスを用いた語彙表・漢字表等の作成と活用』が2011年2月に公にされた後、河内昭浩（編）『コー

パスを活用した国語科学習指導法の構築』(安田女子大学言語文化研究叢書 20・安田女子大学実践教育研究所・2015 年 2 月)、田中牧郎編『講座日本語コーパス 4 コーパスと国語教育』(朝倉書店・2015 年 12 月)等の研究書が公刊された。

前者の『コーパスを活用した国語科学習指導法の構築』では、作文指導・語彙指導・漢字指導の 3 視点での研究がなされている。後者の『講座日本語コーパス 4 コーパスと国語教育』では、語彙教育・作文教育・漢字教育の 3 視点での研究がなされている。

前者が「〇〇指導」、後者が「〇〇教育」とするが、これは用語だけの問題ではないことに留意したい。

「漢字」に関しても、当然前者は「漢字指導」、後者は「漢字教育」とする。

本稿では、小学校の国語科における学年配当漢字と小学校各教科の教科書所載の漢字を対象として、国語科教育における漢字教育についてのあり方についての一つの愚案を提示したい。

## 2

前掲『コーパスを活用した国語科学習指導法の構築』の「3 章 漢字指導研究」には、[資料]として、前掲の『教科書コーパス』を資料とした「常用漢字 教科書度数表」「小学校教科書 漢字度数・順位表」の掲載がある。

因みに、教科書コーパスが対象とした国語教科書は、光村図書出版の「こくご一上(かぎぐるま)・下(ともだち)」「こくご二上(たんぼぼ)・下(赤とんぼ)」「国語三上(わかば)・下(あおぞら)」「国語四上(かがやき)・下(はばたき)」「国語五上(銀河)・下(大地)」「国語六上(創造)・下(希望)」「しよしゃ一ねん」「しよしゃ二年」「書写三年」「書写四年」「書写五年」「書写六年」である。

## 2-1 国語教科書に於ける学年別担当漢字と所用度数

現在の学年別担当漢字は、第1学年 80字、第2学年 160字、第3学年 200字、第4学年 200字、第5学年 185字、第6学年 181字の合計 1006字である。

以下、各学年の担当漢字の各学年の国語教科書での所用度数を示す。  
(漢字の配列は漢字番号に従い、洋数字は度数を示す。)

### 第1学年担当漢字の所用度数

一	771	右	86	雨	85	円	36	王	18	音	266
下	199	火	70	花	145	貝	17	学	415	気	379
九	94	休	34	玉	45	金	59	空	153	月	155
犬	38	見	652	五	155	口	111	校	141	左	86
三	255	山	216	子	444	四	132	糸	38	字	796
耳	28	七	62	車	91	手	384	十	218	出	515
女	45	小	240	上	387	森	105	人	801	水	151
正	69	生	589	青	64	夕	36	石	60	赤	77
千	39	川	91	先	143	早	41	草	43	足	79
村	65	大	601	男	40	竹	29	中	553	虫	38
町	79	天	47	田	73	土	41	二	355	日	535
入	232	年	425	白	144	八	54	百	57	文	532
木	250	本	454	名	252	目	262	立	257	力	101
林	38	六	88	(以上 80 字)							

### 第2学年担当漢字の所用度数

引	57	羽	41	雲	26	園	51	遠	44	何	230
科	44	夏	46	家	165	歌	84	画	213	回	94
会	234	海	93	絵	125	外	108	角	23	楽	137
活	104	間	295	丸	36	岩	39	顔	107	汽	17
記	104	帰	75	弓	8	牛	13	魚	73	京	22
強	52	教	88	近	86	兄	40	形	169	計	40
元	66	言	870	原	94	戸	24	古	48	午	19

後 144	語 322	工 123	公 53	広 124	交 65
光 74	考 450	行 349	高 75	黄 43	合 380
谷 23	国 138	黒 41	今 205	才 4	細 32
作 427	算 11	止 55	市 37	矢 15	姉 13
思 408	紙 167	寺 17	自 306	時 191	室 31
社 43	弱 17	首 32	秋 41	週 31	春 58
書 1022	少 123	場 313	色 133	食 184	心 255
新 149	親 41	図 115	数 87	西 24	声 117
星 35	晴 21	切 128	雪 83	船 28	線 65
前 252	組 227	走 53	多 101	太 108	体 193
台 24	地 205	池 16	知 257	茶 22	昼 28
長 169	鳥 48	朝 77	直 70	通 80	弟 19
店 30	点 132	電 33	刀 8	冬 32	当 92
東 33	答 45	頭 72	同 156	道 126	読 498
内 110	南 22	肉 24	馬 89	売 36	買 45
麦 15	半 43	番 52	父 137	風 75	分 740
聞 291	米 26	歩 74	母 122	方 610	北 35
毎 43	妹 9	万 18	明 92	鳴 50	毛 92
門 13	夜 62	野 79	友 152	用 120	曜 29
来 205	里 8	理 95	話 473	(以上 160 字)	

第 3 学年配当漢字の所用度数

患 30	安 25	暗 25	医 20	委 21	意 264
育 31	員 32	院 16	飲 19	運 41	泳 8
駅 17	央 11	横 51	屋 68	温 15	化 47
荷 9	界 81	開 75	階 14	寒 15	感 136
漠 281	館 60	岸 11	起 42	期 26	客 18
究 31	急 28	級 29	宮 20	球 47	去 15
橋 16	業 65	曲 43	局 17	銀 22	区 18
苦 16	具 49	君 41	係 62	軽 22	血 13

決	107	研	33	県	54	庫	23	湖	13	向	98
幸	15	港	4	号	27	根	42	祭	10	皿	10
仕	38	死	39	使	290	始	70	指	59	齒	32
詩	56	次	195	事	265	持	142	式	22	実	82
写	94	者	168	主	90	守	23	取	177	酒	5
受	35	州	5	拾	14	終	47	習	245	集	146
住	56	重	47	宿	10	所	150	暑	13	助	41
昭	7	消	34	商	14	章	109	勝	23	乗	31
植	39	申	13	身	68	神	31	真	125	深	58
進	50	世	98	整	53	昔	54	全	100	相	92
送	57	想	93	息	17	速	35	族	18	他	34
打	43	対	73	待	38	代	96	第	24	題	119
炭	9	短	42	談	23	着	68	注	28	柱	10
丁	3	帳	6	調	211	迫	21	定	51	庭	29
笛	21	鉄	35	転	62	都	24	度	92	投	18
豆	71	島	38	湯	9	登	42	等	15	動	150
童	19	農	46	波	24	配	71	倍	7	箱	22
畑	21	発	195	反	40	坂	24	板	23	皮	15
悲	16	美	35	鼻	14	筆	262	氷	13	表	316
秒	8	病	45	品	83	負	18	部	140	服	9
福	13	物	461	平	93	返	63	勉	12	放	36
味	174	命	20	面	120	問	94	役	34	薬	34
由	55	油	14	有	13	遊	66	予	19	羊	5
洋	12	葉	510	陽	19	様	124	落	114	流	63
旅	26	両	26	緑	18	礼	19	列	48	練	51
路	16	和	50	(以上 200 字)							

第4学年配当漢字の所用度数

愛	16	案	34	以	36	衣	10	位	28	囲	15
胃	8	印	19	英	14	栄	13	塩	7	億	3

加	46	果	45	貨	5	課	39	芽	16	改	20
械	7	害	16	街	10	各	14	覺	33	完	17
官	6	管	6	閱	76	觀	23	願	54	希	10
季	17	紀	11	喜	15	旗	4	器	12	機	31
議	30	求	15	泣	22	救	9	給	8	拳	14
漁	18	共	30	協	13	鏡	9	競	5	極	11
訓	46	軍	8	郡	5	徑	4	型	14	景	28
芸	16	欠	5	結	61	建	51	健	25	驗	39
固	6	功	8	好	45	候	10	航	5	康	12
告	13	差	18	菜	26	最	59	材	74	昨	20
札	9	刷	5	殺	12	察	9	參	33	產	40
散	14	殘	69	士	36	氏	8	史	29	司	7
試	10	兒	18	治	69	辭	39	失	30	借	6
種	34	周	20	祝	4	順	45	初	71	松	41
笑	59	唱	10	燒	15	象	15	照	18	賞	4
臣	7	信	37	成	87	省	9	清	18	靜	26
席	17	積	15	折	16	節	31	說	43	淺	7
戰	52	選	74	然	34	爭	27	倉	9	巢	16
束	10	側	9	統	58	卒	10	孫	7	帶	6
隊	6	達	76	單	20	置	48	仲	40	貯	4
兆	3	腸	8	低	16	底	79	停	4	的	60
典	53	伝	173	徒	8	努	6	灯	15	堂	12
働	29	特	83	得	20	毒	5	熱	23	念	16
敗	26	梅	21	博	26	飯	19	飛	76	費	5
必	50	票	4	標	13	不	56	夫	73	付	101
府	10	副	5	粉	21	兵	53	別	53	辺	29
変	98	便	22	包	11	法	48	望	18	牧	10
末	11	満	7	未	16	脈	4	民	32	無	20
約	25	勇	11	要	71	養	16	浴	7	利	55

陸	20	良	16	料	103	量	29	輪	13	類	62
令	5	冷	25	例	108	歴	29	連	26	老	15
芳	7	録	20	(以上 200 字)							

第 5 学年配当漢字の所用度数

圧	5	移	8	因	8	永	11	営	5	衛	11
易	6	益	25	液	4	演	20	応	15	往	6
桜	11	恩	4	可	8	仮	63	価	6	河	17
過	26	賀	5	快	7	解	32	格	15	確	92
額	4	刊	5	幹	10	慣	12	眼	7	基	5
寄	13	規	9	技	13	義	8	逆	5	久	11
旧	6	居	13	許	6	境	16	均	4	禁	6
句	28	群	21	経	13	潔	5	件	22	券	7
険	12	検	5	限	11	現	112	減	14	故	10
個	9	護	14	効	14	厚	9	耕	9	鉦	4
構	18	興	16	講	4	混	12	査	14	再	28
炎	13	妻	6	採	5	際	14	在	22	財	5
罪	5	雑	12	酸	7	賛	13	支	8	志	7
枝	12	師	31	資	52	飼	10	示	24	似	12
識	13	質	38	舎	8	謝	16	授	15	修	35
述	23	術	16	準	11	序	9	招	6	承	5
証	5	条	8	状	13	常	10	情	61	織	8
職	20	制	9	性	21	政	9	勢	22	精	5
製	14	税	7	責	6	績	6	接	30	設	28
舌	8	絶	17	銭	4	祖	14	素	10	総	14
造	37	像	54	増	15	則	5	測	7	属	7
率	6	損	4	退	7	貸	5	態	10	団	10
断	15	築	17	張	23	提	17	程	9	適	13
敵	6	統	9	銅	6	導	7	徳	5	独	12
任	9	燃	8	能	12	破	9	犯	6	判	9



版	10	比	19	肥	9	非	6	備	19	俵	5
評	6	貧	5	布	12	婦	4	富	12	武	8
復	9	複	14	仏	10	編	20	弁	9	保	19
墓	9	報	48	豊	14	防	14	貿	5	暴	13
務	11	夢	28	迷	10	綿	7	輪	6	余	7
預	6	容	62	略	7	留	7	領	6		

(以上 185 字)

第 6 学年配当漢字の所用度数

異	8	遺	25	城	6	宇	22	映	27	延	3
沿	9	我	5	灰	5	扨	3	革	3	閣	3
割	16	株	3	干	5	卷	12	看	17	簡	6
危	10	机	5	揮	6	貴	6	疑	18	吸	13
供	4	胸	7	郷	3	勤	4	筋	11	系	3
敬	15	警	6	劇	6	激	8	穴	8	絹	3
権	6	憲	4	源	7	嚴	5	己	3	呼	13
誤	4	后	3	孝	3	皇	6	紅	4	降	8
銅	6	刻	4	穀	4	骨	13	困	5	砂	10
座	3	濟	6	裁	3	策	3	冊	6	蚕	3
至	3	私	10	姿	18	視	11	詞	5	誌	10
磁	4	射	5	捨	4	尺	10	若	13	樹	9
収	8	宗	3	就	3	衆	3	従	3	縦	4
縮	7	熟	34	純	8	処	3	署	3	諸	4
除	3	将	8	傷	8	障	7	城	11	蒸	4
針	6	仁	5	垂	8	推	6	寸	6	盛	9
聖	3	誠	11	宣	3	専	3	泉	5	洗	9
染	9	善	4	奏	3	窓	3	創	7	装	4
層	3	操	4	藏	7	臟	3	存	14	尊	9
宅	4	担	9	探	12	誕	4	段	64	暖	4
値	3	宙	20	忠	4	著	3	庁	4	頂	4

潮	8	賃	3	痛	18	展	10	討	16	党	3
糖	4	届	10	難	15	乳	8	認	5	納	8
脳	10	派	3	拝	3	背	10	肺	4	俳	19
班	4	晩	12	否	9	批	4	秘	6	腹	11
奮	5	並	9	陞	3	閉	5	片	15	補	10
暮	10	宝	5	訪	4	亡	3	忘	4	棒	4
枚	5	幕	4	密	6	盟	3	模	7	訳	11
郵	7	優	9	幼	6	欲	5	翌	11	乱	3
卵	6	覧	4	裏	4	律	3	臨	6	朗	5
論	27	(以上 181 字)									

## 2-2 学年配当漢字の教科書内での度数分布

小学校国語 6 年間の教科書にみられる、教育漢字の学年配当とその出現度数の分布を 2-1 の資料に従って示せば次のようになる。

度数の範囲	0 ～ 9	10 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 99
1 年・度数	0	2	2	8	7	20
・ %	0.0	2.5	2.5	10.0	8.8	25.0
2 年・度数	5	13	15	14	17	37
・ %	3.1	8.1	9.4	8.8	10.6	23.1
3 年・度数	14	45	30	22	18	42
・ %	7.0	22.5	15.0	11.0	9.0	21.0
4 年・度数	50	59	30	17	11	29
・ %	25.0	29.5	15.0	8.5	5.5	14.5
5 年・度数	88	67	16	6	1	6
・ %	47.6	36.2	8.6	3.2	0.5	3.2
6 年・度数	138	36	5	1	0	1
・ %	76.1	19.9	2.8	0.6	0.0	0.6

度数の範囲	100 ～ 199	200 ～ 299	300 ～ 399	400 ～ 499	500 ～
1 年・度数	13	10	4	4	10
・ %	16.3	1.25	5.0	5.0	12.5
2 年・度数	34	12	5	5	4
・ %	21.3	7.5	3.1	3.1	2.5
3 年・度数	19	7	1	1	1
・ %	95	35	05	05	05
4 年・度数	4	0	0	0	0
・ %	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 年・度数	1	0	0	0	0
・ %	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
6 年・度数	0	0	0	0	0
・ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

上表は上記の資料にもとづいて、各学年配当漢字の教科書の中での使用状況の度数分布を示したものである。因みに、例えば 6 年生の配当漢字が度数の範囲 0 ～ 19 の間に 96% 集中するのは 6 年生 1 年間のみであるので当然といえば当然であろう。

ところで、使用度数の低い（度数が 0 ～ 9）漢字のうち、使用度数「5」以下の漢字を抄出すると次のようになる。因みに、使用度数「1・2」の漢字は見られない。

#### ①使用度数「3」の漢字

丁（以上 3 学年配当漢字）

億・兆（以上 4 学年配当漢字）

延・拡・革・閣・株・郷・系・絹・己・后・孝・座・裁・策・蚕・至・宗・就・衆・従・処・署・除・聖・宣・専・奏・窓・屑・臓・値・著・賃・党・派・拝・陞・亡・盟・乱・律（以上 6 学年配当漢字）

#### ②使用度数「4」の漢字

才（2 学年配当漢字）

港（3 学年配当漢字）

旗・径・祝・賞・貯・票・脈（以上 4 学年配当漢字）

液・恩・額・均・鉾・講・損・婦・（以上 5 学年配当漢字）

供・勤・憲・誤・紅・刻・穀・磁・捨・縦・諸・蒸・善・装・誕・暖・  
忠・庁・頂・糖・肺・班・批・訪・忘・棒・幕・覧・裏（以上 6 学年  
配当漢字）

③使用度数「5」の漢字

酒・州・羊（以上 3 学年配当漢字）

貨・競・郡・航・刷・毒・費・副・令（以上 4 学年配当漢字）

圧・宮・賀・刊・基・逆・潔・検・採・財・罪・承・証・精・則・貸・  
徳・俵・貧・貿（以上 5 学年配当漢字）

灰・干・机・困・詞・射・仁・泉・認・奮・閉・宝・枚・欲・朗（以  
上 6 学年配当漢字）

使用度数「5 ～ 3」のうち、最低度数「3」の漢字の国語以外の教科書内  
での状況を少しく詳しく検討する。

2－3 使用度数「3」の漢字と他教科での使用度数

使用度数「3」の漢字の国語以外他教科の教科書での使用度数を示せ  
ば次のようになる。

	算数	理科	社会	技家	芸術	保健	生活
丁	0	0	6	0	0	1	0
億	55	1	4	0	0	0	0
兆	32	0	0	0	0	0	0
延	0	0	2	0	0	0	0
拵	1	0	1	1	1	0	0
革	0	0	15	0	0	0	0
閣	0	0	14	0	0	0	0
株	0	7	1	0	0	0	0

鄉	0	0	11	1	0	0	0
系	0	0	4	0	3	0	0
絹	0	0	2	1	0	0	0
己	0	0	0	0	1	0	0
后	0	0	0	0	0	0	0
孝	1	0	2	0	10	0	0
座	0	1	3	1	0	0	0
裁	0	0	10	0	0	0	0
策	0	0	4	0	0	7	0
蚕	0	0	1	0	0	0	0
至	0	0	0	0	0	0	0
宗	0	0	10	0	3	0	0
就	0	0	5	0	0	0	0
衆	0	0	16	1	1	2	0
從	0	0	3	3	0	0	0
処	0	1	3	0	0	1	0
署	0	0	3	0	0	0	0
除	0	0	0	1	0	2	0
聖	0	0	37	0	0	0	0
宣	0	0	15	0	0	0	0
專	0	0	11	2	0	0	0
奏	0	0	1	0	61	0	0
窓	0	2	3	12	0	0	0
層	0	78	3	1	0	0	0
臟	0	19	1	0	0	23	0
値	52	0	3	1	0	1	0
著	0	0	1	2	0	0	0
賃	0	0	0	0	0	0	0
党	0	0	2	0	0	0	0

派	0	0	5	0	0	0	0
拝	0	0	1	0	0	0	0
陛	0	0	0	0	0	0	0
亡	0	0	3	0	0	6	0
盟	0	0	15	0	0	0	0
乱	0	0	9	0	1	15	0
律	0	0	11	0	0	3	0

(注) 算数・理科・社会・生活は東京書籍、芸術（音楽）は教育芸術社、  
芸術（図画工作）は日本文教出版、保健体育は学習研究社版による。

「国語」の教科書にのみ見られる漢字は「后」「至」「賃」「陛」の4字で、特定の教科に特徴的に見られる漢字は「億」「兆」「値」（以上算数）「層」（理科）「窓」（技家）「孝」「奏」（以上芸術）「臓」（保健）等である。又、漢字の使用のされ方として特徴的な教科は「社会」で、「国語」の教科書で使用度数「3」の44漢字のうち使用度数「0」の6漢字（兆・己・后・除・賃・陛）を除いて、かなりの頻度で用いられていると言える。

## 2-4 所用度数「3」の漢字と現代語の所用漢字

次に所用度数「3」の44漢字について、現代語のなかで、どの程度の使用率を有する漢字であるのかを確認してみたい。現代語の使用率の確認は、国立国語研究所報告56『現代新聞の漢字』（1976年2月）、第3部「主要調査結果一覧」によった。（単位%）

党	1.968	株	1.071	策	1.004	派	0.876	値	0.738
座	0.685	億	0.663	閣	0.533	裁	0.508	署	0.475
専	0.464	衆	0.423	処	0.329	革	0.325	除	0.320
従	0.300	乱	0.300	賃	0.285	延	0.284	著	0.274
盟	0.274	系	0.266	丁	0.259	拡	0.257	奏	0.216
亡	0.193	窓	0.181	就	0.168	郷	0.152	絹	0.150

宗 0.147	宣 0.146	律 0.137	至 0.123	臍 0.121
孝 0.088	聖 0.075	己 0.072	兆 0.055	拌 0.049
陞 0.047	后 0.020	(「蚕」字の掲出はない。)		

国語教科書における使用度数「3」の44字も、新聞に於ける所用漢字の使用率においては1.968‰～0.020‰とかなりの巾が見られる。

国語教科書での度数の低い漢字、新聞に代表される現代語においても所用比率の小さい漢字の相関は、学校における漢字教育の教材研究のあり方を考える重要な視点となろう。

### 3 小学校の教科書と所用常用漢字

#### 3-1 国語科教科書の常用漢字数度表

国語の教科書に所用される、教育漢字以外の常用漢字とその所用度数を抄出すると次の様になる。

越 (2)・炎 (2)・鉛 (1) 乙 (1)・雅 (1)・介 (3)・涯 (1)・柿 (新59)・岳 (3)・瀉 (1)・葛 (新5)・褐 (4)・鎌 (新1)・刈 (4)・甘 (2)・缶 (2)・肝 (1)・貫 (1)・換 (2)・寛 (1)・環 (12)・韓 (新5)・鑑 (7)・伎 (2)・奇 (3)・鬼 (2)・幾 (1)・輝 (1)・騎 (1)・宜 (2)・脚 (1)・丘 (1)・巨 (5)・虚 (1)・御 (6)・狂 (15)・響 (1)・曉 (1)・巾 (新1)・菌 (1)・琴 (6)・錦 (新3)・恵 (1)・掲 (2)・撃 (1)・剣 (1)・圈 (1)・賢 (48)・幻 (4)・玄 (1)・弧 (2)・甲 (1)・江 (13)・肯 (8)・洪 (4)・香 (1)・硬 (3)・項 (5)・稿 (9)・剛 (2)・佐 (1)・斎 (3)・歳 (3)・埼 (新2)・崎 (4)・咲 (1)・惨 (1)・旨 (13)・施 (15)・紫 (1)・鹿 (新1)・蛇 (1)・殊 (3)・秀 (1)・銃 (1)・俊 (2)・瞬 (1)・如 (2)・祥 (2)・称 (2)・晶 (4)・奨 (3)・鐘 (1)・飾 (11)・触 (2)・辛 (5)・津 (2)・紳 (1)・審 (1)・震 (5)・刃 (2)・須 (5)・吹 (1)・衰 (1)・杉 (2)・瀬 (16)・井 (28)・姓 (5)・征 (5)・跡 (12)・摂 (1)・壮 (1)・即 (1)・滝 (3)・沢 (10)・卓 (2)・濁 (3)・嘆 (1)・弾 (8)・畜 (1)・沖 (2)・

挑 (8)・徴 (12)・聴 (1)・陳 (2)・塚 (5)・爪 (新1)・哲 (2)・渡 (2)・塗 (1)・怒 (1)・倒 (11)・唐 (1)・桃 (1)・塔 (6)・稻 (2)・闘 (1)・突 (2)・豚 (1)・奈 (新9)・伯 (2)・漢 (1)・爆 (33)・罰 (1)・彼 (1)・被 (6)・碑 (1)・尾 (6)・姫 (2)・浜 (2)・敏 (3)・符 (5)・舞 (5)・伏 (71)・噴 (15)・壁 (2)・遍 (1)・砲 (2)・冒 (6)・傍 (1)・睦 (新2)・堀 (2)・翻 (2)・凡 (1)・魔 (1)・又 (3)・蜜 (新1)・眠 (4)・霧 (1)・銘 (1)・滅 (3)・茂 (2)・盲 (3)・愉 (3)・裕 (3)・与 (15)・羅 (7)・雷 (4)・頼 (3)・璃 (新1)・了 (2)・瑠 (新1)・涙 (7)・励 (3)・戻 (1)・齡 (2)・烈 (1)・恋 (1)・露 (1)・郎 (18)・湾 (1)・腕 (1) 以上

### 3-2 国語教材と常用漢字

常用漢字は法令文書、公用文書、その他新聞・雑誌等の一般社会生活を送る上での、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安として国の定めた一定の基準となる漢字である。

現在の常用漢字数は、1981年の旧常用漢字表(1945字)からあまり用いられない5字(勺・鍾・銑・脹・匆)を外し、196字を追加した2136字である。

ところで、小学校の国語教科書には、3-1(国語科教科書の常用漢字数数表)に抄出したように、異なり所用漢字182字、延べ所用漢字823字である。度数5～19を整理すると次の如くである。

度数 5～9 葛・韓・鑑・巨・御・琴・背・項・稿・辛・震・須・姓・征・弾・挑・塚・塔・奈・被・尾・符・舞・冒・羅・涙

度数 10～14 環・江・旨・飾・跡・沢・徴・倒

度数 15～19 狂・施・瀬・噴・与・郎

その他、柿(59)・賢(48)・井(28)・爆(33)・伏(71)等の度数にはある種驚きである。

教育漢字のうち度数「3」の漢字が44字、度数「4」の漢字が47字、度数「5」の漢字が47字と、度数「5」までの漢字が、全教育漢字の



13.6%とあるのに対して、度数「5」以上の常用漢字の国語教科書での出現状況は、小学校での漢字教育のあり方を考える重要な視点となると思われる。

#### 4 国語教科書以外の教科書の常用漢字とその度数

「国語」の教科書において、使用度数「0」の漢字で、他の教科の教科書に見られる漢字について検討する。

##### 4-1 国語科以外の教科の教科書所用漢字度数表

威〔常〕芸(3)・為〔常〕芸(2)・維〔常〕社(7)・慰〔常〕社(1)・  
緯〔常〕社(7)・畝〔常〕社(1)・詠〔常〕保(1)・影〔常〕保(1)・  
悦〔常〕芸(3)・媛〔新〕社(3)・援〔常〕社(23)・煙〔常〕保(12)・  
欧〔常〕社(3)・奥〔常〕理(1)社(5)・憶〔常〕社(1)・佳〔常〕芸(4)・  
華〔常〕社(3)技(1)芸(1)・牙〔新〕芸(1)・瓦〔新〕芸(2)・壤〔常〕  
社(1)・垣〔常〕算(1)社(17)芸(1)・較〔常〕社(1)技(1)・隔〔常〕  
社(1)・穫〔常〕社(5)・掛〔常〕理(1)・汗〔常〕社(1)・冠〔常〕  
社(4)・乾〔常〕社(3)・患〔常〕社(6)・棺〔常〕社(2)・勸〔常〕  
社(1)・飲〔常〕芸(1)・還〔常〕理(1)社(3)・艦〔常〕社(7)・含  
〔常〕保(1)・企〔常〕社(1)・岐〔常〕理(5)社(3)芸(2)・祈〔常〕  
社(1)芸(2)・飢〔常〕社(2)・亀〔新〕社(3)・畿〔新〕算(1)社(1)・  
儀〔常〕社(8)・喫〔常〕保(4)・及〔常〕技(1)・拋〔常〕社(1)・  
叫〔常〕社(2)・況〔常〕社(2)・峽〔常〕社(3)・狭〔常〕理(1)社(3)  
芸(1)・恐〔常〕社(1)・仰〔常〕社(3)・斤〔常〕社(1)・偶〔常〕  
算(19)社(1)芸(2)・串〔新〕芸(1)・掘〔常〕社(2)・窟〔新〕芸  
(1)・熊〔新〕理(2)社(4)芸(3)・勲〔常〕社(1)・薰〔常〕芸(4)・  
刑〔常〕社(1)・啓〔常〕社(1)・携〔常〕社(1)・継〔常〕社(1)・  
慶〔常〕社(2)・桁〔新〕芸(14)・軒〔常〕社(1)・堅〔常〕社(1)・  
献〔常〕社(2)・遣〔常〕社(12)・嫌〔常〕芸(1)・弦〔常〕芸(15)・  
孤〔常〕社(1)・雇〔常〕社(1)・鼓〔常〕社(1)芸(4)・呉〔常〕社(1)・

碁〔常〕社(2)・勾〔新〕社(1)・孔〔常〕社(1)・抗〔常〕社(8)・  
 攻〔常〕社(1)・更〔常〕理(1)社(1)・恒〔常〕社(1)・荒〔常〕社(2)  
 芸(3)・郊〔常〕社(1)・貢〔常〕社(8)・豪〔常〕社(17)・克〔常〕  
 芸(1)・婚〔常〕社(4)・沙〔新〕社(1)・鎖〔常〕社(8)・碎〔常〕  
 算(1)・宰〔常〕芸(1)・彩〔常〕芸(1)・催〔常〕社(2)・劑〔常〕  
 技(2)保(2)・祉〔常〕社(22)保(1)・脂〔常〕芸(1)・滋〔常〕理  
 (4)社(7)・慈〔常〕芸(1)・執〔常〕社(3)・湿〔常〕理(1)社(1)  
 技(5)・邪〔常〕社(1)・朱〔常〕社(5)・狩〔常〕社(5)芸(1)・趣  
 〔常〕芸(1)保(1)・儒〔常〕社(2)・舟〔常〕社(16)芸(4)・汁〔常〕  
 社(1)・充〔常〕社(3)・柔〔常〕社(1)・洩〔常〕理(1)社(13)芸  
 (2)・塾〔常〕社(2)・潤〔常〕芸(3)・緒〔常〕社(3)芸(2)・升〔常〕  
 算(1)・召〔常〕社(3)・床〔常〕理(1)社(4)・肖〔常〕芸(2)・尚  
 〔常〕算(1)芸(4)・昇〔常〕社(2)芸(1)・沼〔常〕社(29)芸(7)・  
 症〔常〕社(2)保(15)・涉〔常〕社(4)・紹〔常〕社(1)・掌〔常〕  
 社(1)・詔〔常〕社(4)・詳〔常〕芸(1)・償〔常〕社(3)・尻〔新〕  
 理(1)芸(1)・伸〔常〕芸(1)・侵〔常〕社(6)・振〔常〕社(2)・寢  
 〔常〕社(2)・陣〔常〕社(2)・尋〔常〕社(1)・穗〔常〕社(5)・崇〔常〕  
 芸(2)・牲〔常〕社(1)・誓〔常〕社(4)・仙〔常〕算(2)理(2)社(63)  
 芸(1)・占〔常〕社(14)・扇〔常〕芸(1)・鮮〔常〕社(70)芸(5)・  
 禪〔常〕社(4)芸(2)・租〔常〕社(2)・疎〔常〕社(4)・礎〔常〕社(6)・  
 双〔常〕理(1)社(2)・莊〔常〕社(1)・桑〔常〕芸(1)・掃〔常〕保(1)・  
 曾〔常〕理(1)社(1)芸(1)・僧〔常〕社(7)・燥〔常〕社(3)・贈〔常〕  
 芸(1)・捉〔新〕社(4)・俗〔常〕社(1)・泰〔常〕芸(1)・堆〔新〕  
 社(1)・扞〔常〕社(9)・奪〔常〕社(1)・棚〔常〕社(1)・丹〔常〕  
 社(1)芸(1)・淡〔常〕理(1)社(7)保(1)・鍛〔常〕社(1)・壇〔常〕  
 社(2)・致〔常〕社(3)・稚〔常〕社(7)保(2)・秩〔常〕理(1)社(3)・  
 彫〔常〕芸(4)・鎮〔常〕芸(1)・漬〔常〕社(1)・坪〔常〕算(1)・  
 鶴〔新〕算(3)芸(1)・抵〔常〕社(3)・亭〔常〕芸(1)・貞〔常〕社(3)  
 芸(8)・帝〔常〕社(5)・堤〔常〕社(2)芸(1)・締〔常〕芸(1)・撤

〔常〕社(2)・添〔常〕技(1)・殿〔常〕理(1)社(10)・途〔常〕社(2)・  
 逃〔常〕社(2)・透〔常〕社(1)・筒〔常〕社(1)・踏〔常〕社(4)・  
 峠〔常〕社(1)・虹〔新〕芸(1)・濃〔常〕理(1)・霸〔常〕算(5)社(1)・  
 婆〔常〕社(1)・排〔常〕社(23)技(1)・廢〔常〕社(4)・輩〔常〕  
 社(1)・培〔常〕社(1)・賠〔常〕社(2)・拍〔常〕芸(35)・迫〔常〕  
 社(2)・薄〔常〕芸(1)・肌〔常〕社(1)・鉢〔常〕社(2)・髮〔常〕  
 芸(3)・伐〔常〕社(2)・伴〔常〕芸(6)・販〔常〕技(1)・斑〔新〕  
 社(1)・搬〔常〕(1)・範〔常〕社(1)保(1)・繁〔常〕社(1)芸(2)・  
 藩〔常〕社(24)・蜜〔常〕社(1)・盤〔常〕社(4)・卑〔常〕社(6)・  
 疲〔常〕社(1)・避〔常〕社(1)・苗〔常〕算(1)社(1)・怖〔常〕社(1)・  
 阜〔新〕理(5)社(2)芸(2)・浮〔常〕社(8)芸(1)・普〔常〕理(1)  
 社(2)技(1)・腐〔常〕社(1)・敷〔常〕理(1)社(3)・譜〔常〕社(2)  
 芸(1)・覆〔常〕社(1)・扨〔常〕理(1)技(1)・粉〔常〕社(7)・墳  
 〔常〕社(41)・併〔常〕社(3)・募〔常〕社(10)・簿〔常〕技(1)・邦  
 〔常〕社(7)芸(1)・奉〔常〕社(6)・胞〔常〕保(4)・峰〔常〕芸(1)・  
 乏〔常〕社(1)・坊〔常〕社(1)・房〔常〕社(5)技(10)・紡〔常〕  
 社(4)・墨〔常〕社(1)芸(2)・撲〔常〕理(1)・盆〔常〕社(3)・麻  
 〔常〕算(1)社(4)芸(1)保(1)・摩〔常〕理(3)社(7)芸(2)・  
 岬〔常〕社(1)・妙〔常〕理(1)・娘〔常〕社(1)芸(1)・免〔常〕社(1)・  
 冶〔新〕社(1)・躍〔常〕社(1)・論〔常〕社(2)・融〔常〕技(1)・  
 譽〔常〕社(2)・庸〔常〕社(1)・謠〔常〕芸(24)・拉〔新〕社(2)・  
 絡〔常〕保(1)・藍〔新〕社(1)・痢〔常〕社(1)・離〔常〕社(1)・  
 柳〔常〕社(4)芸(5)・侶〔新〕社(1)・涼〔常〕社(2)・陵〔常〕社(3)・  
 療〔常〕社(4)・厘〔常〕算(1)・隣〔常〕社(2)・零〔常〕芸(1)・  
 靈〔常〕社(1)・曆〔常〕社(6)芸(1)・廉〔常〕芸(4)・呂〔新〕社(3)・  
 惑〔常〕芸(2)

以上

#### 4-2 国語科以外の教科書所用常用漢字

教科別に所用される常用漢字を整理すると次のようになる。

## 算数

垣 (1)・畿 (1)・偶 (19)・碎 (1)・升 (1)・尚 (1)・仙 (2)・坪 (1)・  
鶴 (3)・霸 (5)・苗 (1)・麻 (1)・厘 (1)

## 理科

奥 (1)・掛 (1)・還 (1)・岐 (5)・狭 (1)・熊 (2)・更 (1)・滋 (4)・  
湿 (1)・洩 (1)・床 (1)・尻 (1)・仙 (2)・双 (1)・曾 (1)・淡 (1)・  
秩 (1)・殿 (1)・濃 (1)・阜 (5)・普 (1)・敷 (1)・払 (1)・撲 (1)・  
摩 (3)・妙 (1)

## 社会

維 (7)・慰 (1)・緯 (7)・畝 (1)・媛 (3)・援 (23)・欧 (3)・奥 (5)・  
憶 (1)・華 (3)・壤 (1)・垣 (17)・較 (1)・隔 (1)・穫 (5)・汗 (1)・  
冠 (4)・乾 (3)・患 (6)・棺 (2)・勸 (1)・還 (3)・艦 (7)・企 (1)・  
岐 (3)・祈 (1)・飢 (2)・亀 (3)・畿 (1)・儀 (8)・拋 (1)・叫 (2)・  
況 (2)・峽 (3)・狭 (3)・恐 (1)・仰 (3)・斤 (1)・偶 (1)・掘 (2)・  
熊 (4)・勲 (1)・刑 (1)・啓 (1)・携 (1)・繼 (1)・慶 (2)・軒 (1)・  
堅 (1)・献 (2)・遣 (12)・孤 (1)・雇 (1)・鼓 (1)・呉 (1)・碁 (2)・  
勾 (1)・孔 (1)・抗 (8)・攻 (1)・更 (1)・恒 (1)・荒 (2)・郊 (1)・  
貢 (8)・豪 (17)・婚 (4)・沙 (1)・鎖 (8)・催 (2)・祉 (22)・滋 (7)・  
執 (3)・湿 (1)・邪 (1)・朱 (5)・狩 (5)・儒 (2)・舟 (16)・汁 (1)・  
充 (3)・柔 (1)・洩 (13)・塾 (2)・緒 (3)・召 (3)・床 (4)・昇 (2)・  
沼 (29)・症 (2)・涉 (4)・紹 (1)・掌 (1)・詔 (4)・償 (3)・侵 (6)・  
振 (2)・寢 (2)・陣 (2)・尋 (1)・穂 (5)・牲 (1)・誓 (4)・仙 (63)・  
占 (14)・鮮 (70)・禪 (4)・租 (2)・疎 (4)・礎 (6)・双 (2)・莊 (1)・  
曾 (1)・僧 (7)・燥 (3)・捉 (4)・俗 (1)・堆 (1)・扞 (9)・奪 (1)・  
棚 (1)・丹 (1)・淡 (7)・鍛 (1)・壇 (2)・致 (3)・稚 (7)・秩 (3)・  
漬 (1)・抵 (3)・貞 (3)・帝 (5)・堤 (2)・撤 (2)・殿 (10)・途 (2)・  
逃 (2)・透 (2)・筒 (1)・踏 (4)・峠 (1)・霸 (1)・婆 (1)・排 (23)・  
廢 (4)・輩 (1)・培 (1)・賠 (2)・迫 (2)・肌 (1)・鉢 (2)・伐 (2)・  
斑 (1)・搬 (1)・範 (1)・繁 (1)・藩 (24)・蛭 (1)・盤 (4)・卑 (6)・

疲 (1)・避 (1)・苗 (1)・怖 (1)・阜 (1)・浮 (8)・普 (2)・腐 (1)・  
敷 (3)・譜 (2)・覆 (1)・粉 (7)・墳 (41)・併 (3)・募 (10)・邦 (7)・  
奉 (6)・乏 (1)・坊 (1)・房 (5)・紡 (4)・墨 (1)・盆 (3)・麻 (4)・  
摩 (7)・岬 (1)・娘 (1)・免 (1)・冶 (1)・躍 (1)・論 (2)・譽 (2)・  
庸 (1)・拉 (2)・藍 (1)・痢 (1)・離 (1)・柳 (4)・侶 (1)・涼 (2)・  
陵 (3)・療 (4)・隣 (2)・靈 (1)・曆 (6)・呂 (3)

#### 技術・家庭

較 (1)・華 (1)・及 (1)・剂 (2)・湿 (5)・添 (1)・販 (1)・普 (1)・  
払 (1)・簿 (1)・房 (10)・融 (1)

#### 芸術

威 (3)・為 (2)・悦 (3)・佳 (4)・華 (1)・牙 (1)・瓦 (2)・垣 (2)・  
飲 (1)・岐 (2)・祈 (2)・狭 (1)・偶 (2)・串 (1)・窟 (1)・熊 (3)・  
薰 (4)・桁 (14)・嫌 (1)・弦 (14)・鼓 (4)・荒 (3)・克 (1)・宰 (1)・  
彩 (1)・脂 (1)・慈 (1)・狩 (1)・趣 (1)・舟 (4)・洩 (2)・潤 (3)・  
緒 (2)・肖 (2)・尚 (4)・昇 (1)・沼 (7)・詳 (1)・尻 (1)・伸 (1)・  
崇 (2)・仙 (1)・扇 (1)・鮮 (5)・禪 (2)・桑 (1)・曾 (1)・贈 (1)・  
泰 (1)・丹 (1)・彫 (4)・鎮 (1)・鶴 (1)・亭 (1)・貞 (1)・堤 (1)・  
締 (1)・虹 (1)・拍 (35)・薄 (1)・髪 (3)・伴 (6)・繁 (2)・阜 (2)・  
浮 (1)・譜 (1)・邦 (1)・胞 (1)・墨 (2)・麻 (1)・摩 (2)・娘 (1)・  
謡 (24)・柳 (5)・零 (1)・曆 (1)・廉 (4)・惑 (2)

#### 保健体育

詠 (1)・影 (1)・煙 (12)・含 (1)・喫 (4)・剂 (2)・祉 (1)・趣 (1)・  
症 (15)・掃 (1)・淡 (1)・稚 (2)・胞 (4)・麻 (1)・絡 (1)

国語科の教科書以外の教科の教科書で、国語科の教科書所用の漢字とは  
重ならない漢字は、2010年の改定で新たに常用漢字表に加えられたもの  
を含めて、異なり所用漢字種で350字、延べ所用漢字1274字が見られ  
る。

	算数	理科	社会	技家	芸術	保体	生活
異なり字数	13	26	206	12	78	15	0
延べ字数	38	41	892	26	229	48	0

生活科の教科書の所用漢字は、国語科の教科書所用の漢字にすべてが含まれるが、他の教科の教科書においては国語の教科書に所用される漢字以外の漢字が上記のように実に多く所用されており、その総てが所謂常用漢字として定められているものである。

## 5 小学校教科書所載漢字と漢字指導

以上は、『教科書コーパス』を利用して作成された、前掲「小学校教科書 漢字数度数・順位表」（河内昭浩編『コーパスを活用した国語科学学習指導法の構築』）を資料として、学年別配当漢字と国語教科書、国語の教科書の度数の低い漢字と国語以外の他教科の教科書の所用漢字、国語の教科書に所用される常用漢字、国語以外の教科書所用の常用漢字等について、その度数を中心とした一報告である。

従来、例えば教育漢字の学年配当があるために、国語の教科書では交ぜ書きがなされたり、振り仮名が付されたりする例は少なくない。

上記したように、教科書における学年配当漢字の度数、教育漢字に対しての常用漢字の教科書での度数等を念頭に置く時、例えば、学年配当を意識した漢字（教育漢字）教育は基本的に再考する必要があるのではないだろうか。

教育漢字のなかで、現代新聞の所用の漢字の使用率の低い漢字を、前掲国語研究所報告 56『現代新聞の漢字』のデータに従って、いくつか抄出すると、次の様になる。（単位‰）

后（6年配当漢字）	0.020	汽（2年配当漢字）	0.020
舌（5年配当漢字）	0.023	芽（4年配当華字）	0.027
詞（6年配当漢字）	0.031	穀（6年配当漢字）	0.033
拾（3年配当漢字）	0.036	貝（1年配当漢字）	0.037

耕（5年配当漢字）	0.037	俵（5年配当漢字）	0.040
奮（6年配当漢字）	0.043	刀（2年配当漢字）	0.043
陞（6年配当漢字）	0.047	拝（6年配当漢字）	0.049
脈（4年配当漢字）	0.050	鼻（3年配当漢字）	0.051

「后」や「陞」字は「皇后」「陛下」、「刀」「俵」「詞」「穀」字等はその熟字を多くは想定できない。

一方、国語教科書に見られる常用漢字のうち、現代新聞所用の漢字と比べると、使用率の上位にくる漢字が比較的に見られる。（単位‰）

井	1.003	審	0.674	沢	0.566	撃	0.583
施	0.580	爆	0.544	越	0.464	彼	0.457
歳	0.422	渡	0.365	響	0.350	尾	0.329

これらのことを鑑みると、教育漢字のみではなく、常用漢字の指導が問題として浮かび上がる。

特に、常用漢字を問題とすると、国語以外の教科の教科書の所用漢字を抜きにしては考えられない。

算数・理科・社会・技術家庭・芸術・保健体育の教科書所用の漢字は、  
異なり字数 350 字 延べ字数 1274 字

異なり字数 350 字のうち、社会の教科書は 206 字、全体の 58.9%を占め、延べ字数 1274 字のうち、社会は 70.0%を占めている。

因みに、芸術の異なり字数の比率が 22.3%、延べ字数の比率が 18.0%である。社会と芸術二科目での異なり字数の比率は 81.2%、延べ字数の比率は 88.0%を占める。とりわけ社会科の教科書の常用漢字の比率については留意しなくてはならないところである。

ところで、棚橋尚子に「他教科における漢字指導実践—社会科（小学校第 6 学年）の事例—」（特定領域研究「日本語コーパス」言語政策班報告書『言語政策に役立つ、コーパスを用いた語彙表・漢字表等の作成と活用』第 4 章第 4 節）がある。棚橋は、その論文の「おわりに」において、

実際に社会科の中で漢字学習をおこなう授業の実践を検討すること

で、教科内容の理解に資する学習、漢字の習熟が期待できる学習が組織できる手ごたえを感じた。それは、現職教員の多くが、それが望ましいと考えていることからわかる。(略) できるだけ早く学年別漢字配当表を教科配当することを考案し、小学校全体の教科カリキュラムを漢字習得の観点から見直していきたいと考える。

と記している。

	国語	社会		国語	社会		国語	社会
愛	16	19	安	25	100	以	36	73
衣	10	13	移	8	28	遺	25	52
域	6	129	育	31	78	印	19	21

等々

上に示したのは、国語の教科書よりも社会の教科書の方が、所用度数の高い漢字の抄出であるが、このような例は他にも多く見られる。

又、棚橋は前掲論文の「はじめに」において、

単に新出の漢字に留意させるといった程度のものではなく、教科内容に深くかかわり、その教科の教科書において頻出する、または割合的に多く提示される（教科特徴度の高い）漢字を、現在国語科で行っているような指導法で習得させようというものである。

と記している。

棚橋論文の「はじめに」「おわりに」から、国語科以外の他教科においての漢字指導は好意的に捉えられていることがみてとれる。しかし、前掲棚橋論文では、漢字指導の基本的な捉え方が明らかでないために、不用意にその方向性の可否を云々することはできない。

以下には、他教科においては漢字指導は可能であっても、漢字教育は不可能であろうという視点で、小学校での漢字教育について考えてみる。

漢字の教育は、あくまでも言語教育のなかに位置付けられなければならない。言語教育のなかに文字教育があるわけであるが、文字教育は社会生活に適合する力量を培い、養うために体系的・計画的になされなくてはならないものである。



漢字を「書く」ということは、

- ① その筆画・字画を正しく書くレベル……………漢字指導
- ② 語の意味・用法を理解した上で、漢字を適切に選べるレベル  
……………漢字教育

等々を意味すると思われる。

語の意味・用法の理解は、文学教育の領域と深く関わるものである。それだけに言語教育・文学教育の関連のなかで体系的・計画的に指導計画がなされなくてはならないであろう。

甲斐睦朗編『小学校国語教科書の学習語彙表とその指導』（光村図書・1982）に「本表（一般自立語）」として、小学校「国語」教科書に提出された 6483 語についての初出箇所と頻度（度数）が示されている。その場合、掲出語（見出し語）の漢字表記を小学校配当漢字と配当漢字以外の漢字（常用漢字）とを区別し、後者の場合を（ ）付きで示されている。

例えば、「浮」字は常用漢字であるので、当該書では当然「(浮く)」と表記される語である。国語の教科書に「浮」字は当然見られないが、社会の教科書には見える。

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
うかぶ		3	1	5	9	6	24
うかべる						1	1
うき				1			1
うきあがる				1		2	3
うきしずみ				2			2
うきでる					1		1
うく				16	3		19

「荒」も常用漢字である。「荒」字も社会の教科書には見える。

あらあらしい					1		1
あらい				2			2
あらす			1			3	4
あらっぽい						1	1

『コーパス』を利用することで、上記の様な資料の作成は容易となる。  
漢字教育は語教育との系統のかつ複合的な指導法の確立が可能となる。

このような意味で、漢字教育は、本来国語科のなかで行われるべきものである。言語教育に基盤を置いて、計画的な指導計画を他教科、例えば、社会科の授業に求めるのは、社会科の指導趣旨には符合しないであろう。

しかし、上述した、教育漢字の学年別配当漢字の教科書での所用度数、常用漢字の国語教科書での所用度数、国語以外の教科の教科書の常用漢字の所用度数等を、確認する時、漢字教育の体系化を各教科の枠に捉えられない形で計画的な指導法の確立が求められる。

- ①教育漢字と現代語の所用漢字の所用度数の相関
- ②常用漢字と各教科での所用度数の問題
- ③国語科の教科書と国語科以外の教科書での漢字の扱い方の問題
  - i ルビ（振り仮名）の付し方
  - ii 「交ぜ書き」語の表記
- ④教育漢字と常用漢字の指導の問題

等々考察すべき点は多い。

本稿は、言語教育に位置付けた漢字教育の教材研究の基礎的作業の一端を示したものである。『教科書コーパス』に基づいて作成された「小学校教科書漢字度数・順位表」によった一端であるが、『教科書コーパス』は、語教育等にも極めて有効であろう。種々のコーパスは、教材研究の巾を広げるであろうし、指導法の開発に寄与するところ大であろう。

（元京都女子大学文学部教授）